

平成22年
第5回市議会(臨時会)

会期8月17日

臨時会で審議した案件は人事案件1件でした。

概要は次のとおりです。

○副市長の選任の同意について

総務企画部長 大原 豊氏を副市長に選任することに同意いたしました。

平成22年
第6回市議会(定例会)

会期9月7日～17日

会期中に決算3件(認定)ほか、補正予算案5件(原案可決)、人事案件1件(原案同意)、条例案4件(原案可決3件、継続審査1件)、請願・陳情2件(採択1件、継続審査1件)その他4件の議案の審議をしました。

審議の概要は次のとおりです。

総務文教委員会に付託された議案

○大竹市漁業共同利用施設設置及び管理条例の制定について

○大竹市漁業共同利用施設の指定管理者の指定について

Q 阿多田かき殻一時堆積場の利用者の対象範囲、収支について尋ねる。

A 施設は、国庫金で95%財源充当され、施設利用者は阿多田島漁協の組合員に限らず市内外の業者の利用も可能である。収支については、阿多田島漁協とは別会計とし、利用料で経費を使い、剰余金は補修等の積立てに充てる。

Q かき殻堆積場の概要について尋ねる。

A 猪子島に設置する施設は、岸壁の内側に設置し、最大で水深5mほどあり、ほぼかき殻は水中に没しており、周辺の環境保持にもよい。

○大竹市立学校設置条例の一部改正について

Q 今後の木野小学校のプールの使い方について尋ねる。

A プールは季節性のものであり、現在は利用についての方向性はきまっていない。

Q 9月に学校設置条例を改正する理由について尋ねる。

A 地元の方も、教育環境を考えたときに致し方ないとのことであり、まちづくり協議会、閉校記念誌準備委員会を地元で立ち上げている。閉校のための作業があるため、今回の議案提出となった。

質疑を終結し、討論に入りましたが、反対、賛成の立場から1名ずつ討論がありました。

反対

「このたびの設置条例の一部改正については、理解と合意が得られるよう、行政のほうから地元を協力をお願いすべきと考える。」

賛成

「まちづくり協議会、閉校記念誌準備委員会が機能しており、地元の合意はできていると理解している。」

○工事請負契約(大竹市地域情報通信基盤整備工事)の変更契約の締結について

・変更契約の概要
ケーブル敷設のための電柱の設置本数の増加とこれに伴う工期の延長が必要となった。

Q なぜこの時期に強度不足が判明したのか。事前調査ですべきでなかったのか尋ねる。

A 工事請負業者は、富士通ネットワークソリューションズで議会議決後の調査となるため、事前に詳細調査は困難であり、8月中旬に強度不足の電柱の全体数が判明した。

Q 自営柱の維持管理費用等について尋ねる。

A 市側が中国電力、N T Tに電柱を共架する場合には使用料を払い、逆に市が貸す場合には、使用料をいただく。自営柱を民間の土地に立てる場合地権者の同意の上、年額870円から1千870円の基準の中で地代を支払う。維持管理はふれあいチャンネルが行い、契約により市にかかる経費についてはいただくことになる。

Q 地元業者の下請け率について尋ねる。

A 電気通信工事であり、市内では1社あるが、本来用務では厳しいため、他の用務でできないかお願いしている。

○平成22年度大竹市一般会計補正予算(第2号)

1億3千764万7千円増額

Q 農地災害復旧事業に要する経費について、阿多田地区における集中豪雨による土砂崩れの復旧状況について尋ねる。

A 災害復旧事業は、阿多田農道の大規模な崩壊2箇所についてであり、小規模の土砂崩壊は、農道維持管理で対応している。民家の影響は、把握していないが、急傾斜施設への土砂流入の報告は受けている。

Q 児童・生徒各種大会等参加補助金の根拠について尋ねる。

A 大竹市立小・中学校児童・生徒選手派遣費補助金交付要綱の第2条により、市外で行われる競技会が補助金対象となり、競技の規模は、小学生在県大会、中学生が中国大会以上のものとし、競技内容としては、広島県中学校種目別選手県大会の種目、若しくはそれに準じた種目とする。補助金は、2分の1で自己負担額が中国大会では1万円、全国大会では1万5千円を超えた場合、超過額を補助している。

Q 三倉岳休憩所等補修工事の内容について尋ねる。

A ログハウス・管理棟の補修工事、工事の設計委託料である。今年度広島県が自然公園施設整備支援事業補助金を設け、補助率が3分の2で有利なため、これを活用しての工事である。

Q 口蹄疫緊急対策事業費補助金の内容について尋ねる。

A 広島県において万一の発生を想定して、防衛手段として補助金を交付する制度が設けられた。畜舎周辺の野生動物の侵入防止柵の設置、消毒用資材の整備に関する補助金で補助率は2分の1である。

採決の結果、6議案は原案のとおり可決



○大竹市立学校設置条例の一部改正について

「地元との話し合いが不十分のため継続審査とすべき」との動議がだされ、採決の結果、継続審査となりました。



現在の木野小学校

その他の議案については、本会議で原案のとおり可決

生活環境委員会に付託された議案

○市道路線の認定について

Q 旧国道を市道路線として認定するメリットとデメリットは何か尋ねる。

A 今後、維持管理をしていくことになるので、その経費がデメリットとなる。メリットについては、認定した路線が交付税の算定にプラスされる。

Q 認定しようとしている安条2号線と安条1号線の交差する場所が以

前から段差が大きく事故の危険があるが、県が事前に修繕をしてくれるのか尋ねる。

A 地元からは24項目の要望があり、これらについては県に対応してもらっているが、指摘されている箇所については、地元からの要望は出ていない。



市道安条2号線起点付近

Q 八丁3号線に関しては、八丁橋から手前約50m部分は道路側溝がなく、山水が道路に溢れてくる状況にある。側溝の新設についても県に要望するのか尋ねる。

A 市道認定することを条件に、県がいくつか整備をすることになっているが、側溝の新設については、お願いをしたが県では実施できないという回答であった。雨水が路上に溢れる箇所があるが、横断管が閉塞しているのが原因と思われるため、これについては県が補修する。

○平成22年度大竹市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

4千332万5千円増額

○平成22年度大竹市介護保険特別会計補正予算(第1号)

1千490万7千円増額

○平成22年度大竹市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

243万5千円増額

Q 医療費抑制の観点から、ジェネリック薬品の普及が重要視される中で他市では数値目標を掲げているところもあるが、市ではどのように対応しているのか尋ねる。

A 数値目標はないが、市民がジェネリック薬品の意味を理解し、希望する意思表示ができるようになることに重点をおいて、今後さらにPRをしていく。

Q 国保基金の運用について、開発公社への貸付金から銀行の定期預金にしていると聞いているが、今後どのような運用を考えているのか尋ねる。

A 将来にわたり国民健康保険制度を安定的に維持するため、基金については、その時々で安全で有利な運用をおこなう。

○平成21年度大竹市水道事業会計決算の認定について

○平成21年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について

○平成21年度大竹市公共下水道事業会計決算の認定について

Q 公共下水道の修繕計画はどのようにになっているのか尋ねる。

A 来年度から長寿命化計画を策定する予定だが、この中で全体の修繕も計画する。

Q 平成21年度の有収率が82.4%であるが、当初の目標は何%であったのか尋ねる。

A 厚生労働省からは有収率の目標として90%という指導があるが、現在の有収率は、この目標から開きがある。今後の努力していくべき点であると認識している。

Q 耐震化の進捗はどの程度なのか尋ねる。

A 上水道の耐震化率は昨年の4月現在で約7%となっている。公共下水道については、現在のところ耐震性があるのか検討していないが、来年度以降の長寿命化計画の中で幹線

については検討を行う。

Q 上水道の耐震化を進めるための計画はあるのか。また、耐震化を進めるために事業費が必要になるが、料金値上げの懸念があるのか尋ねる。

A 現在作成中である水道ビジョンの中で10年間の計画を検討している。今後、耐震化や施設の更新も実施していく必要があるが、耐震性の判断については議論がなされている最中であり、現在7%とされている耐震化率も議論によって左右される。今後どの程度の施設の更新が必要となるのか、明らかにすれば、それにより今は黒字であるが、いつ頃赤字になるのかもわかり、どのような対策をとるべきなのかも検討していく必要がある。

Q 将来の給水人口はどのように考えているのか尋ねる。

A 給水人口については、水道ビジョンの中で検討していく。

Q 雨水滞水池の工事は、5年計画で進めていると聞いているが、進捗状況はどうか尋ねる。

A 当初、平成25年完成の予定であったが、入札の状況等により予算的なゆとりができ、前倒しをすること

が可能になった。現在は平成24年の完成を目指している。

○平成22年度大竹市工業用水道事業会計補正予算(第1号)

小瀬川ダム湖の流木撤去負担金

収益的支出 118万8千円増額

小瀬川ダム情報基盤総合整備事業負担金

資本的支出 965万3千円増額

採決の結果、8議案は原案のとおり可決及び認定



本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決及び認定

その他

○宮島競艇施行組合議会議員の補欠選挙について

岡部健三氏の宮島競艇施行組合議会議員の辞職に伴い、補欠選挙が行われ、乃美晴一議員が当選されました。